



一般社団法人 多文化社会専門職機構 (TaSSK)

第4回多文化社会実践研究フォーラム

「多文化社会における市民活動を問う」

多文化社会専門職機構では、2018年から3年にわたり多文化社会実践研究フォーラムにおいて、「多文化社会における市民活動と専門職」を中期的テーマに据え、議論を深めています。2018年度はその1回目として「多文化社会を問う」をテーマに、人権、福祉、司法、教育、労働という分野で課題を議論しました。今回は、そこでの議論をうけて、多文化社会における市民活動を問い直します。多文化共生に関わる政策や制度が急ピッチで進められているいまこそ、多文化社会の市民活動に求められる視点や意義について参加者どうして議論したいと思います。

※ 本フォーラムでは、新型コロナウイルス感染拡大に伴い中止した2020年3月22日(日)の内容について、コロナ禍における市民活動の状況等をふまえ、議論します。前回お申込みの方もあらためてお申込みくださいますよう、お願いします。

日 時 : 2020年 12月6日(日) 10:00~16:00

会 場 : オンライン

主 催 : 一般社団法人 多文化社会専門職機構 (TaSSK)

定 員 : 250人(先着順。事前申込みが必要です)

参加費 : 一般 2,000円 / 会員 1,000円

申 込 み : 下記のウェブサイト(Peatix)からお申込みください。

<https://tassk-forum04.peatix.com>



問 合 せ : 一般社団法人 多文化社会専門職機構

Tel: (03) 6261-6225 / Email: office@tassk.org

URL: <http://tassk.org/>

10:00~11:45 全体会 I

挨拶・趣旨説明 10:00~10:20

野山広(多文化社会専門職機構代表理事)

パネルトーク「多文化共生社会に向けた市民活動の展望」 10:25~11:45

安本大輔(東京出入国在留管理局審査管理部門受入環境調整担当統括審査官)

松原明(シーズ・市民活動を支える制度をつくる会 元代表理事)

伊東祐郎(日本語教育推進関係者会議委員)

進行: 奈良雅美(アジア女性自立プロジェクト)

13:00~14:30 分科会

① 福祉 「福祉から多文化社会における市民活動を問うーコロナと市民活動と新しい挑戦」

天谷都紀子(狭山市社会福祉協議会)

コーディネーター: 新居みどり(国際活動市民中心)

② 医療 「医療から多文化社会における市民活動を問うー相談センターの現場から考える コロナ禍における「相談通訳者」の役割」

村田陽次(東京都 生活文化局 都民生活部 地域活動推進課 課長代理(活動支援国際担当))

宮城京子(AMDA/相談通訳者)

コーディネーター: 阿部裕(四谷ゆいクリニック)

③ 人権 「人権から多文化社会における市民活動を問う」

長澤正隆(北関東医療相談会理事/事務局長)

コーディネーター: 中村亮(弁護士)

高柳香代(多文化社会コーディネーター/多文化共生ネット・九州)

④ 教育 「教育から多文化社会における市民活動を問う」

田中宝紀(NPO 法人青少年自立援助センター定住外国人支援事業部責任者)

コーディネーター: 山西優二(早稲田大学)

⑤ 労働 「労働から多文化社会における市民活動を問う」

鳥井一平(移住者と連帯する全国ネットワーク代表理事)

コーディネーター: 松岡真理恵(多文化社会コーディネーター/浜松国際交流協会)

14:45~16:00 全体会 II

分科会報告・ディスカッション 14:45~15:45

新居みどり、阿部裕、中村亮、山西優二、松岡真理恵

コーディネーター: 青山亨(東京外国語大学)

閉会あいさつ 15:50~16:00

青山亨(多文化社会専門職機構副代表理事)